

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

さっぽろ 市議団ニュース

<第2回定例会>

2015年7月8日

No. 133

日本共産党札幌市議団 事務局

tel 211-3221 / fax 218-5124

個人情報情報の流失、莫大な費用負担となるマイナンバー制度 は中止を

太田秀子議員が質問

日本共産党の太田秀子議員は7日、議案審査特別委員会でマイナンバー制度の導入について質問しました。

太田議員は、日本年金機構の125万件の個人情報流出、共通番号制度を導入したアメリカでは、なりすましによる犯罪が2年間で1,170万件、被害総額1兆300億円などの事実をしめし、「100%情報漏えいを防ぐことは可能なのか」「本市全体でいくらの費用がかかるのか、市民負担はあるのか」とたどしました。

鈴木情報化推進部長は、「多重的なセキュリティー対策の強化をはかる」とするものの100%漏えいを防ぐとはいえず、「本市の負担は今回の補正約10億円を含め合計17億円」、市民負担はマイナンバーカードの初回交付は無料だが更新時の費用は検討中で、マイナポータル（自分の情報をいつ、誰が、なぜ提供したかを確認できる）の利用には、パソコンと専用の読み取り機（2千円程度）が必要になるとのべました。

太田議員は、流出を完全に防ぐことは困難であり「一度漏れた個人情報情報は流通、売買され取り返しがつかない」と指摘。「費用も今後のシステム改修などにどれだけかかっていくかも不明」「コンビニで住民票などの証明書がとれるといっても年に何度も使わない」と、莫大な費用に見合う利便性はないと強調し、「市民の個人情報が守れないマイナンバー制度の実施は、中止するよう国に求めるべき」と訴えました。

避難所への高規格型寝袋の配備、障がい者・高齢者への配慮と寒さ対策急げ

平岡大介議員が質問

日本共産党の平岡大介議員は7日、議案審査特別委員会で避難所の整備について質問しました。

平岡議員は、集中豪雨による土砂災害や火山噴火、地震などが全国で頻発しており、「避難所整備は住民の命を守るうえできわめて重要」とのべ、昨年9月11日の豪雨のさい、避難所の鍵が閉まったままだった問題を指摘。「その教訓を生かした改善は図られたのか」「今回の補正で高規格型寝袋に9440個が更新されるが、全避難所にいつまで配備するのか」「避難所での高齢者や障がい者への配慮、寒さ対策はどのように検討しているのか」とたどしました。

小田原危機管理対策部長は、避難所のカギの開錠について、管理者である教頭の到着が間に合わない場合にそなえ、「区役所でスペアキーを保管することや地域住民が開錠することも想定し、暗証番号キーの設置を検討する」「高規格型寝袋（断熱性、寝心地を向上）は、今後5年程度で基幹避難所に配備を終えたい」、障がい者、高齢者などへの対策として「学校の改築と合わせた玄関スロープや車いす対応トイレの設置や、高齢者、乳児などが優先使用できる教室を設け、また、暖房用の石油ストーブの配備をすすめている」とのべました。